

# 後閑駅ナカ学習室は 5周年を迎えました。



全 22 席、集中できる学習環境



参考書など役立つ書籍を揃えています  
フィオンズクラブ様に、一部ご提供いただいています！



将来のヒントにつながるイベントも開催

無人駅に再び灯った

小さな明かり

2018年、JR上越線の後閑駅が無人駅になりました。町から明かりが一つ消えたとき、「駅に明かりがなくなるのは寂しい」という地域の皆さんの想いに、みなかみ町とJR東日本が応え、かつての駅務室のスペースを活かした、通学で駅を使う高校生のための自習室「後閑駅ナカ学習室」として、2021年にスタートしました。

オープンから5年が経ち、ここは単に机が並ぶ場所ではなく、学校帰りにふらっと立ち寄り、静かに自分を磨く「いつもの居場所」として定着しています。送迎の待ち時間を惜しんで参考書を開く姿、学年の垣根を超えて黙々と机に向かう光景が、この場所の日常になりました。

みなかみ町から委託を受けた一般社団法人FLAPのもと、移住して地域の活性化に取り組む地域おこし協力隊員が日々の自習室運営やイベント企画、駅周辺の美化を通じて学生に寄り添い、この場所を支えています。

# of opening

# 5 後閑駅ナカ学習室の 年間のあゆみ

## 「地域と世界をつなぐ学びの場」

学生たちの視野を広げる機会を大切にしてきました。

### ・地域を知る

町内の活動団体や地域の取り組みを知る機会を作り、将来を考えるための「足元」を固めてきました。

### ・社会を知る

各業界の方を講師に招き、多様なキャリアについて直接お話を聞く場を創出。学習室を利用していたOB・OGがボランティアとして参加するなど、世代間の交流・循環も生まれています。

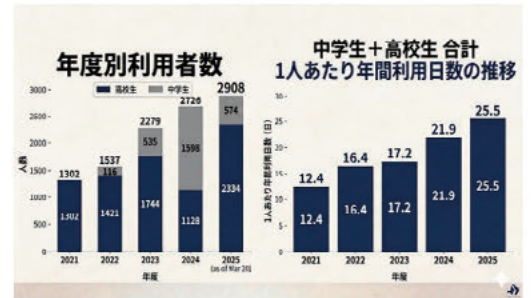


## 「毎日の学ぶ場所」へ

5年間で後閑駅ナカ学習室は学生たちにとって、身近な場所となり、通う頻度が倍増。

利用時間も高校生の約半数が1日2時間以上利用し、学生たちが集中して学ぶいつもの居場所となっています。

「家では誘惑が多いけど、ここなら集中できる」学生たちの静かな熱気が、この場所の空気を作っています。



## 未来に羽ばたく、学生たちを支える

年度末にとった利用者アンケートでは、「ここに来ることで、毎日机に向かう習慣がついた」「周りに勉強している人がいることで、自然と集中できた」といった、学習・勉強と真剣に向き合える場所として評価されています。実際に、学生たちの進学先は県内にとどまらず県外へ。さらに海外留学を視野に入れるなど、自分のやりたいことに向けて進路を考える姿も見られます。



後閑駅ナカ学習室は、住民の皆さんの声から始まり、ここで過ごした学生たちの熱量によって形づくられてきました。駅に灯った小さな明かりは、これからも地域とともに形を変えながら、次の世代の挑戦を支え続けていきます。ぜひ地域の皆様も、将来に向けて頑張る学生たちを温かく見守ってください。引き続き、よろしくお願いいたします。



### 後閑駅ナカ学習室とは

無人駅となったJR上越線「後閑駅」の駅務員室を改装した自習室です。町内在住・町内在校の高校生が、電車待ちや送迎待ちの際に集中して勉強できるよう運営しています。

開室時間 平日16:00~20:30・土曜日13:00~19:00

WEBはこちら



# 5th anniversary